

■ 平成28年度 「長島中学校：教育ビジョン」 ■

【はじめに】

◎「キーワード」が、いっぱい！！

※「愛する母校」「誇りを持って」「我らが、長中応援団！！」「長島中のファンになろう！！」

◎「校長：大角」が、赴任してから「3年計画」のイメージで改善活動に取り組んできた

【「教育ビジョンの整理」「校務分掌の見直し」「生徒会活動の活性化（校則改正）」「強みの整理→ボランティア委員会：フラワーロードプロジェクト&太鼓サークル活動」「新設された吹奏楽部」
「学校評価の生徒・保護者の声」「幼一小一中連携・PTA 連携・地域連携」「全職員との対話」
「ボトムアップ理論」】

【人権ベースの生徒指導】 【運営委員会と各部会は双方向の矢印で！】

【校長—教頭—生徒指導主任—教務主任のベクトル合わせ】【教頭は、情報共有の要】

◎キーワード：おおすすめ語録…… <集会でよく話しています>

「テーマは愛」「合言葉は なかま」「キーワードは強い心と夢実現」「部活は団体戦・授業も団体戦・そして進路も団体戦」「君達あってこそこの長島中」「君達生徒は、我々教師のエネルギー」
「生徒や保護者に気づかせてもらっているというスタンスで」「ラーニングピラミッド」
「大きく変わる：大変」「報連相は、調理せよ」「アフターケア&フォローを」
「週をまたぐな、家へ行って直接、顔をみて対応」「実態把握—即時対応—再発防止」
「くるしくても わかりあえる なかまがいる」
「なかまとともに がんばろう しあわせめざして まっしぐら」

◎こんな教職員であれ……

【プロ意識と協調性を持つ！】【覚悟を持って教育活動を展開せよ】

【常に、反差別・被差別の立場に立つ】【いじめ・差別の現実から深く学ぶ】

【教育ビジョン】

I. めざす学校像

→ 「心豊かでたくましく、実践力のある生徒の育成」の学校教育目標のもと、
「生徒・保護者・地域に信頼される魅力のある学校」をめざす。

II. めざす生徒像

- 思いやりのある生徒
- 心身ともに健康な生徒
- 主体的に学ぶ生徒
- 粘り強く取り組む生徒
- いじめや差別を見抜き、許さない生徒

III. 経営方針

○教職員としてその職責を自覚し、学校教育目標の達成につとめる。

～ 「めざす学校像・めざす生徒像」にあわせて、「研修テーマ」・「学年目標」・「学級目標」を設定する。 = 「ねらい：めざすもの」の共有化 ～

○情報の共有化・共通理解による、責任の分担と協力を深め、いきいきとした学校文化を創り上げていく。

- 「保護者とのつながり」「長島」の文化・風土を大切にしながら、「幼・小・中連携」と「開かれた学校づくり」を展開する。
- 「人権ベースの生徒指導」を展開する。個々の生徒や保護者の思いに応える生徒指導・進路指導を進めて、人権同和教育・特別支援教育をさらに充実させる。
- 教職員が心身ともに健康を維持し、ワークライフバランスを図りながら、意欲を持って教育活動を展開するためにも、「総勤務時間の縮減」にむけた取り組みについては、継続して進める。

IV. 平成28年度の重点 → **【 授業改革 と 集団づくり 】** ← 継続！

☆「新しい三学期制が始まる」…今まで積み重ねてきたものをベースに、＜学力の向上＞をめざすために……以下の①～③のように改善していきたい。

①「授業改善のさらなる推進」→

- 【授業研究—授業改善—授業力UP】の流れを意識して指導法の工夫に取り組む。
- 【目標の確認と振り返り】【授業規律の徹底】【TTの有効活用…わかるまで教える】

②「家庭学習の充実に向けた取り組みの継続」→

- 【習慣化の手だて】…【長期休業中の学習質問会&宿題についての工夫…例えば、基本的な知識や技能が確実に定着できるよう、授業と連動した「宿題」の提示や、自主的な「予習・復習」のし方について家庭と連携をとっていきたい。

③「指導力の向上に向けた、教職員研修の推進」→

- 【「部活動の充実」…「部活指導力向上」の研修を積む、それが、「生徒指導力・集団指導力・生徒理解力」を高め、「学級経営力」のUPにつながる。

☆「学級」が安定すれば、「授業」を中心とした一日の教育活動がスムーズに展開され、「楽しく学びあい、よく分かる授業」の実現につながっていく。

V. 校内研修テーマ ※研修部よりの提案にて、後日決定されます。

- 「なかまづくりの視点から、道徳教育・教科指導の充実をめざして」← H27年度
- 「教職員ひとり一人が、【めざす授業像】を設定して、学校経営参画意識を高めて、主体的に教育活動を展開してほしい。」

メモ

- ◎「この教育ビジョン」は、生徒の実態把握のもとに策定していくが不易流行の部分も考えていきたい……
- ◎「学校経営」という視点で、「拡大学校評議員会」でいただいたご意見をもとに、「3月職」→「新年度準備委員会」を経てきていますのでご理解下さい。